



二川宿まち並み通信

第4号 平成24年11月15日

発行：‘二川宿’まちづくり会

大岩町東まちづくり会

協力：豊橋市都市計画課

城下町(犬山)と東海道の町(有松)を視察しました

10月21日(日)、大岩町東まちづくり会主催で犬山市と有松町へ総勢39名で視察に行きました。

国宝犬山城と城下町がセットになって生き続けているまち犬山市では、地域づくり活動リーダーから話を聞きました。住民との対話を重ねながら、国、県、市の助成も受けて昔ながらの城下町を保存しつつ今に至った苦労話を聞きました。

有松町では伝統の絞り技術で発展した400年の歴史ある建物が並ぶまち並みを歩きました。何人かの外国の人たちも訪れていました。まち並みは清潔で気持ちのよいものでした。6月の絞りまつりや10月の山車まつりは賑わうそうですが、普段は落ち着いた雰囲気をかもししていました。



電線も無く、きれいなまち並みの犬山



地元の方から話を聞きました(犬山)



外でも説明をいただきました(犬山)



見越の松が美しい有松のまち並み

○視察後、参加者に感想を書いてもらいました

今回の視察先の感想を、参加者皆さんに書いてもらいました。多くの方が犬山は活気がある街、有松は落ち着いた街という印象を受けられたようです。また、どちらも電柱が無く、ゴミも落ちていないきれいな街という感想も多くありました。私たちとしても今回の視察結果を参考に活動を進めたいと思います。

意見の代表的なものを下記にまとめました。

<総合>

- ・ 来訪者に対し親切に対応してくれる
- ・ 官民一体の努力が伺える
- ・ 室外機や消火器など小さなものにも配慮がある
- ・ 二川も格子だけでも統一できないだろうか

<犬山>

- ・ 所々に縁台やお休み処がある、二川にも必要
- ・ 20年のまちづくり活動で現在があることが分かった
- ・ 地元の人が建物を貸し、若い人達が店を出している
- ・ イベントを活用している、二川もできるのでは
- ・ 住民団体の方の努力に感激した
- ・ 住民が楽しそうに体を動かしているように見える

<有松>

- ・ とても立派な家並みだった
- ・ 建物の高さが揃い、看板も同じ材質できていた
- ・ 銀行や学校もまち並みに合わせた配慮があった
- ・ 有松絞りがあり、高級なイメージ

(大岩町東まちづくり会 一同)

私たちの二川宿でも続々と景観整備が進んでいます ~3年半で25件の工事~

平成21年に二川宿景観形成地区整備計画が策定されて以来、これまで25件の工事が行われました。これはまちづくり会ができた当時想像していたよりも多く、この街を良くしようとする皆さんの気持ちの表れでもあると思います。最近では二川以外の方が新しく街道沿いに住まれる事例も出てきています。改修や建替え等を考えられている方は、是非まちづくり会役員に声を掛けてください。今後も皆さんのご協力をお願いします。



先日行われた餅投げの様子
(大岩町東の楠見様
店舗建築工事)

本陣に泊まろう ～本膳料理に祭りにカルタ、歴史三昧の宿泊体験～

江戸時代の宿泊施設であった本陣・旅籠屋に泊まる宿泊体験イベント「本陣・旅籠屋に泊まろう」が10月14日に二川宿本陣資料館にて開催されました。当日は県内各地から19人の参加があり、地元からは6人の女性がボランティアとしてお手伝いをしました。参加者は街道を散策した後、江戸時代の本陣の食事を再現した本膳料理に舌鼓を打ちました。また、14日は二川八幡神社例大祭の日で、からくり人形のある山車やお囃子、にぎやかなお祭りの様子もご覧いただけました。翌日にはカルタ大会も行われ参加者は歴史体験にどっぷり漬かった2日間を体験でき、とても満足そうでした。



鯛の塩焼きをはじめとした本膳料理



カルタ大会の様子



八幡神社例大祭の山車巡行を見学



二川宿大名御膳
 菊酒
 細谷津彦のこぼだ
 みでれきのこ湯景
 焼き海老二つま茶・もち
 すずきの湯煮
 味噌入巻・山の子銀杏
 刺り干し大根・菊菜
 揚げ鯛
 めし
 井阪鯛焼
 たたみわし
 豆腐くず仕立て
 栗麩もち

◆二川宿あれこれ【二川八幡神社例大祭】

二川八幡神社では今年も10月13日に宵宮、14日大祭が開かれ、両日とも好天に恵まれました。

二川八幡社御神楽保存会では神輿渡御などで御神楽奉納を舞う神楽子の稽古指導を、祭りにむけて1ヶ月ほど前から行いました。神楽子には四町内(中町、新橋町、東町、二川南町)の小学3年生男子8名が選ばれ、親たちが見守る中、神楽殿で稽古に励んでいました。また、各町の公民館では若衆たちが、子ども達に山車巡行時に演奏するお囃子や太鼓の指導をしていました。

山車巡行は昼と夜に行われ、その道中に山車の上からハンカチを撒くという習慣があります。ハンカチには諸説あると思いますが、その昔は浴衣の振袖を振っているだけだったものを、製糸が盛んな大正の頃に女工さんが振袖を引張ったりしたため、ハンカチを撒く現在の形になったそうです。今ではハンカチだけでなくお餅やお菓子も一緒に撒きます。

お祭りは午後8時ごろ最高潮に達し、中原屋近くに3台の山車が集結。大勢の見物客が見守る中、山車の電飾が辺りを昼間のように照らし、歓声と太鼓、笛の音が夜空に響き渡りました。(二川宿まちづくり会 牧野)



保存会による神楽子の練習



公民館での祭りの練習



中町の山車



新橋町の山車



東町の山車